

九州大学病院

研修医 金光 陽子 2014年11月

みなさん、こんにちは。九州大学病院二年次研修医の金光陽子（かなみつようこ）です。11月に出水総合医療センターの地域医療研修プログラムに参加し、野田・高尾野・上場診療所、出水総合医療センター、保健センター、老人ホームなど、地域医療に関わる様々な施設で研修をさせていただきました。

診療所では、主にプライマリーケアの研修をしました。実際に患者さんの診察をさせて頂いたのですが、限られた10~15分の時間の中では患者さんと良好なコミュニケーションをとろうとするだけで精一杯で、核心を付いた診療に至れず、外来診療の難しさを実感しました。そんな状態でしたので、先生方が患者さんの病歴・社会的背景を念頭に現在の主要なプロブレムに対して的確に対応され、また、慢性疾患に関してはその病状進行や合併症発症の有無などに留意して診察や検査をされる姿を拝見できたのは、大変勉強になりました。また、野田診療所では毎日エコー検査がありましたが、先生からマンツーマンで指導を受けることができたのでこちらも大変勉強になりました。

医療センターでは、循環器内科と小児科、救急外来で研修させていただきましたが、こちらでは、入院加療など、診療所よりもより高度な医療を必要とする患者さんの医療を経験できました。特に、救急搬送されてくる多くの患者さんがまずは地域のプライマリーケア医を受診して、入院加療が必要との判断で医療センターに紹介となっていたため、救急外来に着くやいなや瞬時に診察・検査が終了して、速やかに入院されていたのが印象的でした。一次医療、二次医療がそれぞれの役割を分担して、機能している様子を伺い知ることができました。また、時間外では三水会の懇親会にも参加させていただきましたが、そこで開業医の先生と医療センターの先生が難しい症例の相談など、情報交換をされている様子を拝見しました。地域医療の中での施設間の連携の重要性を実感していた所でしたので、このように医者同士の親睦を深めることができる機会は、非常に有意義なものだと感じました。

保健センターでは健康相談や3歳次検診による一次・二次予防を、リハビリテーション科では三次予防を経験することができ、老人ホームでは介護医療の実際を目の当たりにし、その現状をお聞きしました。その他にも医療安全、地域医療連携、検査科などでも研修させていただきました。本当に一ヶ月では足りないほどの盛りだくさんの研修をさせて頂き、大変勉強になりました。

最後になりましたが、ご多忙の中、丁寧にご指導頂いた先生方、コメディカルの方々、スタッフの方々、その他関係各位御尽力下さったすべての方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。